

第三セクター等経営健全化方針

この方針は、相当程度の財政的なりスクが存在する第三セクター等と関係を有する地方公共団体が、当該第三セクター等の抜本的改革を含む経営健全化のための方針を定めるものである。

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和5年10月3日

作成担当部署 天童市経済部商工観光課

2 第三セクター等の概要

法人名 株式会社 スポーツクラブ天童

代表者名 代表取締役社長 山本 信治

所在地 天童市本町一丁目1番2号

設立年月日 平成3年4月8日

資本金 100,000 千円【当該地方公共団体の出資額(出資割合)45,000 千円(45%)】

業務内容 直営 スイミングスクール

指定管理受託 市民プラザ及び市民保養施設ゆびあ

業務委託受託 健康増進施設

3 経営状況、財政的なりスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

(株)スポーツクラブ天童は平成3年4月に設立され、直営施設のビーフリー、スイミングスクールと市民プラザ及びゆびあの指定管理の受託を行ってきた。ビーフリーについては過大な固定経費により事業開始時から毎年経常損失を計上していたが、他の部門の収益により、近年では会社全体では黒字となっていた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全部門において収益が悪化したことを受け、令和3年3月に市が「(株)スポーツクラブ天童経営改革検討委員会」を設け、経営改善の検討を行ってきた。その結果、事業開始時から毎年経常損失を計上してきたビーフリー事業の廃止を(株)スポーツクラブ天童に提案した。(株)スポーツクラブ天童では、当該提案を受け、ビーフリー事業を令和4年3月末で廃止することを決定し、当該事業に係る資産を市へ寄附することとした。これらにより債務超過の状態となったが、ビーフリー事業の経常損失がなくなることにより、経営の効率化が図られる見通しとなっている。

4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

(株)スポーツクラブ天童の経営健全化については、市が「(株)スポーツクラブ天童経営改革検討委員会」において、廃止を提案し、それを受け社内においても廃止を決定するとともに「第三次中期経営計画(令和4年度～令和8年度)」を策定している。

5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

ビーフリー跡地が市に寄附されたことにより、市ではこれを令和4年9月から健康増進施設として整備し、その管理業務を(株)スポーツクラブ天童に委託している。さらに、(株)スポーツクラブ天童が策定した経営計画により経営健全化に取り組んでおり、債務超過については令和8年で解消される見込みとなっている。

(参考)

6 法人の財務状況

貸借対照表から	項目	金額(円)		
		元年度	2年度	3年度
	資産総額	242,505,372	213,094,582	87,947,552
	(うち現預金)	(88,802,390)	(54,990,242)	(35,015,913)
	(うち売上債権)	(185,290)	(229,538)	(328,430)
	(うち棚卸資産)	(3,143,724)	(2,036,360)	(1,804,224)
	負債総額	113,819,167	143,438,918	134,891,378
	(うち当該地方公共団体からの借入金)	(0)	(0)	(0)
	純資産額	128,686,205	69,655,664	△46,943,826

損益計算書から	項目	金額(円)		
		元年度	2年度	3年度
	売上高	524,411,487	346,919,289	398,030,403
	売上原価	66,763,677	32,632,523	33,832,828
	販売及び一般管理費	445,270,223	398,289,713	387,148,323
	営業外収益	4,838,067	26,158,230	6,572,259
	営業外費用	1,315,764	980,690	758,269
	経常利益	15,899,890	△58,825,407	△17,136,758
	当期純利益	10,870,173	△59,030,541	△116,599,490